

# 負けよもんが

## 中小企業物語

▶▶⑦

全国から引っ張りだこの「ダチョウマスク」。

ダチョウの抗体をしみ込まされたマスクは、強毒性の鳥インフルエンザウイルスH5N1型を不活性化させる。いま世界で感

染者を出す新型インフルエンザと同じH1N1型にも効果がある。福岡県

飯塚市のマスク製造販売二〇〇三年。自動車の輸出が引っ張り、日本の政和さん（五）と、獣医師康浩さん（四）が共同開発した。「変わり者」と呼ばれる二人の出会いは、必然だったかのようだ。

幸運な出会いはある開発に没頭できる会社を起こすと言った。

そのころ、大阪府立大開発に没頭できる会社を起こすと言った。

品化を直談判した。「先

生、やりましょう」

二人はさっそく、実証

動き、さすり続けた。

出会いは、壁をぶつ

りでついに仕事をする」で、ダチョウの長寿（寿

命約六十年）の理由を探

退職。シャンプーの開発を手掛けるなど入社から

効果が薄く、売れなかつた。社員三人に給料を払

うと赤字になつた。

ウは本当に強かつた。け

がで死にかけた翌日、ピ

社内で「居場所をなくしていった」からだ。

閉塞感の中で、辻さん

飯塚に会社を設立した。

新薬開発につながるとの仮説を吹聴した。

品化を直談判した。「先

生、やりましょう」

辻さんの会社は、昨夏

まで待って」それでも「故郷・福岡でつかい仕事をする」。

で、ダチョウの長寿（寿

命約六十年）の理由を探

で駆け付けた。起業から

が入ったダチョウ抗体の

新薬開発につながるとの仮説を吹聴した。

辻さんは、資金の壁が立ちはだかる。だが幸運な人との

幼いころから、「大き

なダチョウが好き」だつ

て、ダチョウの長寿（寿

命約六十年）の理由を探

で駆け付けた。起業から

が入ったダチョウ抗体の

新薬開発につながるとの

化学品部長の辻さんは、

社内で「居場所をなくして

でつかい仕事をする」。

で、ダチョウの長寿（寿

命約六十年）の理由を探

で駆け付けた。起業から

が入ったダチョウ抗体の

実験を行つた。辻さんは

からダチョウマスクの製

造を始めた。一年足らず

H5N1型に感染した

で約千五百万枚を売り上

げた。新型インフルエン

ザの拡大後は、事務所の

西日本新聞（朝刊）

飯塚市のマスク製造販売「クロシード」社長の辻 輸出が引っ張り、日本の政和さん（五）と、獣医師

景気が上向いていくに連続で京都府立大教授の塚本 康浩さん（四）が共同開発した。勤め先の東京の商社が、自動車部品の取り扱いを増やし、主力だつ

る一人娘は、泣いた。ウ一筋、十年超。当然な化粧品の投資を急減。

「お父さん変よ。卒業がら、異端。

二〇〇三年。自動車の輸出が引っ張り、日本の政和さん（五）と、獣医師

景気が上向いていくに連続で京都府立大教授の塚本 康浩さん（四）が共同開発した。勤め先の東京の商社が、自動車部品の取り扱いを増やし、主力だつ

る一人娘は、泣いた。ウ一筋、十年超。当然な化粧品の投資を急減。

「出会いが行き詰った道を切り開いた」と語る辻さん（右）とダチョウの研究をまとめた本を手にする塚本さん

